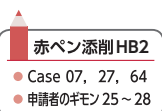


■「赤ペン添削 HB2」アイコンについて

“申請書の書き方”に特化し、事例を多く盛り込んだ「科研費申請書の赤ペン添削ハンドブック 第2版」（児島将康／著）が、本書の姉妹書として発行されています（詳細は巻末の広告ページを参照）。そこで本書の3章、4章に**右図**のようなアイコンを加えて、この姉妹書の参照箇所を示しました。よろしければ併せてご活用ください。



■研究種目別「申請書の構成案」について

研究種目ごとに申請書の様式が微妙に異なるため、何をどんな分量で書いたらよいか迷うことがあるという声をいただきます。そこで、各研究種目の申請書に対して、どんなことをどんな割合で書いていくとよいのか、その目安を児島先生にご解説いただきました。羊土社 HP で公開しておりますので、ぜひご活用ください。

■「速報」コーナーについて

科研費の制度は、審査の区分やしきみが変わったり、研究計画調書（申請書）の構成が変更になったりと、常に変化を続けています。次々と更新される制度に対応するため、第8版でも、本書の発行後に発表される科研費の最新かつ重要な情報を「速報」として児島先生にフォローしていただきます。

具体的には羊土社 HP にて、**下図**のようにご解説いただく予定です。研究者が知っておくべき科研費情報を随時ご紹介いただきますので、ぜひご活用ください。



※画像はイメージです。実際にはデザインを変更している可能性があります。

科研費の「速報」「申請書の構成案」は以下URLよりご覧ください。



www.yodosha.co.jp/kakenhi